

iCoToBa

2019

iCoToBa(多言語学習センター)年報

iCoToBa(あいことば)によようこそ

上川通夫(グローバル実践教育推進室長・教養教育センター長)

iCoToBaは、県大の中にあるグローバル体験空間です。いわばキャンパス内留学の実感に満ちた、多言語学習と多文化理解のための交流スペースです。

iCoToBaは、全学の皆さんに開かれています。海外の学術交流協定大学などからの留学生や、県大5学部の学生、また教職員や学外からのゲスト、時には高校生も、言語や専門を越えて人と人を結ぶヒューマンな世界です。



iCoToBaは、たくさんのメニューを揃えて皆さんを待っています。外国語学習の講座、グローバルセミナー、異文化交流イベント、ネイティブ教員や留学生との外国語レッスンなど、目一杯です。

皆さん、まずは一步、E棟2階の明るいスペース、iCoToBaに足を踏み入れてください。きっと学びの幅を広げる機会が見つかります。そして、皆さんがiCoToBaを担い、よりよいiCoToBaづくりに参加して下さることをも期待しています。

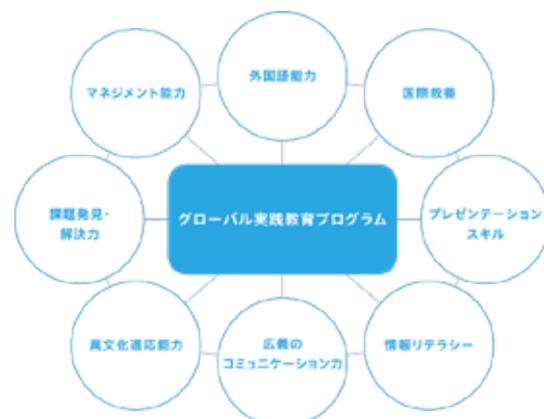
この年報は、2019年度の活動を紹介するものです。ご関心の一助になることを願っています。たくさんのご意見もお待ちしています。

グローバル実践教育プログラム

「グローバル実践教育プログラム」は、外国語学部の「グローバル人材プログラム」(2013年度～)を発展させたもので、全学のグローバル人材育成プログラムとして2017年度(外国語学部は2016年度)に始まりました。このプログラムは、グローバル化が進む地域社会において、卒業後、各学部の専門性を活かし外国人住民に対応できるようになることと、また彼らと共に活動するため異文化に関する知識を学び、多文化共生社会に資する能力を身につけることを目指しています。さらに、外国語学部の学生は、国内外のグローバル化した社会で求められる高度な複言語能力の習得も目標としています。

「グローバル実践教育プログラム」(学部により19～26単位)では、卒業時に獲得する知識とスキルを以下の8項目と定めています。

- A. 国際教養
- B. プレゼンテーションスキル
- C. 情報リテラシー
- D. 広義のコミュニケーション力
- E. 異文化適応能力
- F. 課題発見・解決力
- G. マネジメント能力
- H. 外国語能力



「グローバル実践教育プログラム」では、他学部の専門教育科目を横断的に履修できます。また、フィールドワークやPBLなど、異なる専門性や背景知識を持った人と協力し、課題を解決する学習機会がもうけられており、実践的な異文化理解・体験につながるようにプログラムがデザインされています。

「グローバル実践教育プログラム履修規程」

https://www.aichi-pu.ac.jp/education_and_research/pdf/global_rishuukitei.pdf

グローバル実践教育とiCoToBa

本学のグローバル実践教育を推進し、多文化共生社会で活躍できる力を身につけるために、iCoToBaでは、さまざまな外国語学習支援と異文化理解・異文化交流推進のための活動を行っています。

1. 外国語学習支援

iCoToBaでは、目的別、レベル別に、「英語コミュニケーション講座」、「留学前準備講座」、「地域コミュニティ言語講座」、「検定試験対策講座」の4種類の語学講座を開講しています。また、iContact(あいことたと)では、外国人教員による個別英語指導と、留学生による外国語コミュニケーションのミニレクソンを行っています。



2. グローバルセミナー



国内外のグローバルな文脈におけるトピックについて、本学教員の研究や海外生活の経験などを紹介する1回完結型のセミナーです。全学部の教員の協力により、さまざまなテーマを取り上げています。今年度から愛知県立芸術大学の教員のセミナーも加わり、より幅広い内容になりました。学生をはじめ教職員の参加も多く、大学間の交流、カジュアルな研究交流の場としての役割も果たしています。(2019年度は14回開催)

3. 留学報告会

毎週月曜日に、留学した学生の体験談を聞く留学報告会を開催しています。これから留学を目指す学生が先輩学生からアドバイスを得ることができる機会となっています。



4. 異文化理解・交流イベント



外国の文化を体験するイベントや、本学留学生や地域との交流イベントを開催しており、異文化を理解し実際に外国語でコミュニケーションする機会にもなっています。これらのイベントの多くは、企画段階から学生も参加しており、学生は自主性や行動力、マネジメント能力を伸ばすことができます。

5. 地域社会との連携

地域産業界や自治体等と連携し、地域社会における課題解決を目指した学習機会や地域でのボランティア活動の機会を提供しています。

6. 情報発信



iCoToBaでの活動は、本学のiCoToBa公式Webサイト、Facebook「愛知県立大 icotoba (あいことば)」、Instagramで発信しています。

iCoToBaの語学講座

iCoToBaでは、外国語教育の目的として、①英語力の強化、②留学準備、③多文化共生社会で必要となる専門性を活かすための外国語コミュニケーション能力養成に重点を置いています。留学準備などの語学講座は、1学期に13回行い、着実に語学力を高めていきます。また、気軽に外国語を学べるよう、5回で1セットのショートコースも用意されています。

英語コミュニケーション講座

英語コミュニケーション講座は、初級から上級まで、技能別クラスとプロジェクトを通して実践的に英語を学ぶクラスが設定されています。2019年度に開講したクラスは以下のとおりです。

入門・初級コース(A1-B1)

- ◆ Pronunciation Profiles 1,2 : Fun Class for Beginners and New Students (A1-B1)
「初級生・新入生向けの楽しいコース:生きた英語発音1,2」
- ◆ English: Back to Basics: English Communication Workshop (A1-B1)
「基本へ立ち返る:英語コミュニケーション講座」
- ◆ Tour the English-Speaking World: Fun Class for Beginners and New Students (A1-B1)
「比較文化を体験できる初級リスニングとスピーキング」
- ◆ Summer English Resort and Casino (A1-B1)
「夏休みに使える英語を楽しく学ぼう！
ーリゾート・カジノ編ー」



Students' voice

- ・いろいろな学科の英語を伸ばしたい人と話すことでモチベーションが上がった。優しく面白く丁寧に教えてもらったので、英語に対するハードルが少し下がってもっと習得したいと考えるようになった。
- ・ヒントが色んなところに散りばめられている。先生の助言が細かい。
- ・クラスの人とたくさん交流できること。いろいろな人とたくさん話すことでスピーキング力は伸びていくと思う。

Students' voice

- ・プレゼンテーションのコツをたくさん学べるところ。普通の授業では誰にも教えてもらえない。
- ・すごく実践的。他の英語の授業も最初からこれをするべき。中学・高校でこれをやりたかった！
- ・説明がとても分かりやすかったです。学生の発音をきちんとチェックして個別でアドバイスをしてくれて良かったです。



中級コース(A2-B2)

- ◆ Study English with Movies (A2-B2)
「映画を使った英語学習のコツ」
- ◆ Topic Talk from the Net (A2-B2)
「ネットでトピックを見つけて、カジュアルディスカッションをする」

Students' voice

- 趣味である映画を通じて英語の勉強に取り組めたこと。
- 学生主体で授業が進むところ。教員が理解度を確認してくれる。
- フリーで楽しく話することができるところ。学部学科様々な人が受講していておもしろかった。

上級コース(B1-C1)

- ◆ Get Good at Speaking!: Intermediate to Advanced Conversation (B1-B2)
「会話を上手に！中級の壁を乗り越えるためのスピーキングとディスカッションスキル」



Students' voice

- フリートークとかとにかくいっぱい英語が使える。
- 楽しいアクティビティの時とまじめなディスカッションが交互にある。

プロジェクトサポートクラス

- ◆ PBL Writing Consultations: Collaborative Project Writing Support (All Levels)「PBL記事作成応援講座」
- ◆ iCoToBa Planning Sessions: iCoToBa Intercultural Workshop (All Levels)「iCoToBa異文化ワークショップ」
- ◆ Global Pop Culture in Aichi: Project Workshop (A2-B2)
「発見！愛知のポップカルチャー：東海地方PBL型アクションコース」



Students' voice

- 学生主体で進められ、各グループの構想を共有し、自分たちで記事の内容の方向性を決められた。
- 自分で一から考えて記事を書く力がついた。
- 初めて英語のプレゼンをした。
- 数人でひとつのものをつくり上げる力がついた。



留学前準備講座

留学先で必要となるアカデミックなスキルや、留学先での生活会話を学ぶクラスです。2019年度は、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語の講座を開講しました。

- ◆ Explain Japan in English (A2-B2)
「日本を英語で説明しよう」
- ◆ Plan a Trip in English: Applying your English to your Travels (A2-B2)
「英語で自分の海外旅行計画を立てる」
- ◆ Refugees and Human Rights: How We Can Help (A2 and up)
「難民と人権問題: 私たちにできること」
- ◆ Talking about Society with Movies (B1-C1)
「映画で社会を語る」
- ◆ TED Talks: Listening and Discussion (B1-B2)
「TEDトーク: リスニングとディスカッション」
- ◆ Advanced CLIL Course: The Culture of "Politics" (B2-C1)
「iCoToBa上級コース: 『文化と『政治』』」
- ◆ Presentation Tune Up : English Academic Presentation Workshop (All Levels)
「学会発表の英語プレゼンテーション講座」
- ◆ Real-Life Academic Discussion Skills : Pre-Study Abroad Course (B1-C1)
「実際に使える大学ディスカッションスキル」



Students' voice

- プレゼンテーションのコツをたくさん学べる。普通の授業では誰にも教えてもらえない。
- 教員だけでなく、学生がクラスを作ることで主体的に授業に参加できる。
- 教員との距離が近いので、アドバイスをたくさんもらったのがよかった。
- 自分の興味のあることを選んでできる。個別の文法ミスを見直せる。スケジュールが柔軟。
- 全授業がこの難しさだと大変だけど、1つ2つこれぐらいの授業があると自分の挑戦ができて嬉しい。英語の面接試験が控えていたためこの授業をとったが、ウェイトトレーニングとしてこの授業はととても役立った。
- 映像作品というiCoToBa初の試み。ナレーション役等で英語の発音を特に意識できた。社会的にも意義のある活動だと思う。
- 他のメンバーと一緒にアクティブな活動ができる。社会問題について知る機会になる。



Students' voice

- ◆ Allons en France! (A2-B1)
「フランスでの生活を始めましょう!」
- ◆ ¡Listos para el DELE! (A2-B2)
「DELEの準備をしよう! (スペイン語)」
- ◆ Vorbereitung auf das Auslandsstudium (A2 and up)
「留学前準備講座(ドイツ語)」
- ◆ 留学之前話中国 (A2-B1)
「中国事情を語る」
- 楽しい! 実際の生きた表現を多く教えてくれたことがとても実用的で良かった。
- 少人数だったからだと思いますが、先生が1人1人みてくれたのが良かったです。たくさんほめてくれると同時に、たくさん指摘してくれた。生徒の要望を聞いてそれにあった授業をしてくれた。
- 質問の時間をとってくれるので、+αでテーマに関する知っておきたいことを教えてもらえた。
- 学部の授業より早く文法事項に触れたり、より豊かな表現を知られるところ。
- 直接講師と少人数・アットホームな環境で学べること。言語以外も学べること。
- 芸大の方とやれて、すごくやる気をお持ちでインスパイアされました。

受講者の声

岩月亜希子さん

外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻1年 (Real-Life Casual English 受講)

一度英語の基本に立ち返ることで応用能力を高めたいと思い参加しました。

中学時代に習った基礎の文法をBrett先生とのやり取りをはじめ、講座を一緒に受ける人たちと実践的に使うことで自分の思うことを発語していくことの楽しさを知りました。

別の言い回しを適切に教えてもらい、こういえばいいのかという発見もありました。自己紹介だけでなく、道案内など使えるフレーズを再確認できました。フランクに楽しく受けることができた講座です。言語はコミュニケーションのツールだと思うので、人と会って話すということを積極的に行っていく良いきっかけになりました。

柴田紗穂さん

外国語学部中国学科1年 (留学前準備講座「中国事情を語る」受講)

私は後期から半期だけ留学前準備講座を受講しました。この講座では、中国語が基礎から学ぶことができます。ネイティブの先生との少数人数授業なので、和気あいあいとしており、丁寧に発音の指導してもらえた上に、分かるまで何度も質問をすることもできます。普段の授業では、ほとんどネイティブの方と中国語で話す機会や学んだ単語を遣う機会はなかったので、講座は毎回刺激的でした。講座の開始前に日本語やジェスチャーを混ぜつつも中国語で会話をしたり、文法の質問をしたりして、細かいニュアンスまで伝えようと努力しました。新出の文法や単語は例文を作ったり、何度も間違えたりしたことで深い理解ができました。講座に申し込み、参加したその1歩が世界に踏み出す道に繋がっていたように感じます。iCoToBaは世界への窓です。

新田海斗さん

外国語学部中国学科1年 (地域コミュニティ言語講座「初めてのベトナム語」受講)

ベトナム人と会うことが多くなり、良い機会だったので講座に参加しました。講座では、文化や社会について、写真や地図を見ながら学ぶことができ、少し難しく感じたベトナム語も楽しく勉強できました。

急激に経済発展しているベトナムでも昔から続く習慣や地域ごとの特徴的な風土が残っていてその風景が印象深く、漢字由来の語彙は発音が日本語の発音に近いという話は驚きました。

この講座を通して、ベトナムにもっと関心を持ったのでもう少し勉強して旅行に行きたいと思います！！

テエシエイラ ラウラさん

ポルトガル ミーニョ大学 交換留学生(春季ポルトガル語入門講座 スチューデント・アシスタント)

Ensinar Português a Japoneses é uma atividade muito interessante. Atualmente, no Japão não se sabe muito sobre Portugal, e como é tanta coisa para ensinar e explicar, quando se dá conta já está na hora de fazer uma pausa. Ao falar sobre a culinária e os doces portugueses, os alunos ficam com os olhos a brilhar de tal forma, que fico com vontade de arranjar os ingredientes por aqui e dar-lhes a provar as delícias de Portugal. No entanto, o aspeto mais importante é quando me apercebo de algo que sempre fiz inconscientemente. Quando tenho de explicar a pessoas de outros países aspetos da vida e cultura portuguesa que sempre pratiquei normalmente, possibilita-me reconhecer a cultura do meu país. Ao pesquisar sobre os livros ilustrados que lia em criança e sobre o sistema de educação Português, fico a entender aspetos que em miúda ainda não conseguia. Não é só pela troca de culturas, mas também por sentir que fico a conhecer melhor a minha própria cultura.



日本人にポルトガル語とポルトガルのことを教えるのはとても楽しいことだと思います。現在日本ではポルトガルはあまり知られていないので教えることが沢山あるからです。気がついたら休憩の時間になっていました。ポルトガル料理やお菓子の話をすると学生さんの目がキラキラになったから日本で材料を探して作ってあげたいとも思いました。しかし最も大事なことは自覚していなかったことに気づくことです。今までポルトガル人として普通にやってきたものを違う国の人に紹介する際に私も自分の国の文化を改めて知ることができました。子どもの頃の絵本やポルトガルの教育システムについて調べると幼い時に理解出来なかったことを分かるようになりました。異文化交流だけではなく自文化とのつながりが強くなった気がします。

iContact (あいこんたくと)

iContact(あいこんたくと)は、外国人教員や、留学生によるFace to Faceの外国語コミュニケーションのミニレッスンです。英語は、iCoToBaと教養教育センターの外国人専任教員が担当しており、1回15分の予約制レッスンです。個別指導が中心なので、ライティングの指導や会話指導を中心に行っています。

また、留学生のSA(スチューデント・アシスタント)が担当するiContactも開催しています。2019年度は、9言語で開講し、710回(437時間)、のべ1,645人が参加しました。留学生のiContactの様子はFacebookでも公開しています。



	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	ポルトガル語	韓国語	ロシア語	トルコ語
実施回数	25	66	139	29	164	93	101	71	22
参加者数 (のべ数)	48	108	441	34	493	69	318	56	78
合計時間	21	40	86.5	18.5	96	50.5	67.5	46	11

イバラ アドリアナさん(メキシコ・グアダラハラ大学 交換留学生)

Quando realicé iContact, no pude hablar con muchos estudiantes, pero con los que sí hablé sobre diferentes cosas como comida mexicana, pasatiempos, cosas de México y también sobre la forma de estudiar. Sobre México, hablamos sobre las diferentes formas en las que se realizan platillos, la seguridad, lugares para visitar, como Cancún, Los Cabos, Guadalajara, las pirámides de México, etc. En cuanto a la forma de estudiar, algunos aprenden leyendo libros en otros idiomas, utilizando aplicaciones, viendo series en internet, hablando con otras personas, etc. Aunque el tiempo en iContac fue breve, me gusto hacerlo, no soy una persona muy sociable, por eso me alegro de que sólo fueran pocos estudiantes con los que pude hablar, siento que cuando son grupos pequeños, las conversaciones son más amenas. Es muy divertido hacer iContact. Muchos estudiantes de español y también



iContact をして、学生といろいろなことについて話すことができました。例えば、メキシコの料理、趣味、メキシコの物、勉強の仕方、ちょっと商取引について話しました。メキシコ料理の作り方を教えました。安全と旅行に行く場所、例えば、カンクン、ロスカボス、グアダラハラ、メキシコのピラミッド。勉強の仕方は、学生は自分で勉強したり、言語のアプリケーションを使って他の言語の本を読んでいます。これから、他のトピックについてもっと多くの人と話せるようになりたいと思います。



譚 曉傑 (タン ギョウケツ)さん (中国・四川師範大学 交換留学生)

刚开始做icontact还在想有没有人来和我聊天, 还好每次都有好心人和我聊天。既可以练习自己的日语, 又可以在教别人中文的过程中让自己重新思考母语, 对我自己也很有帮助。

iContactをし始めた時に私とチャットできる人があるかなと思って、幸いに話をかけてくれた人がいます。自分は日本語も練習できますし、他の人に中国語を教えることを通して、改めて母語を考えられます。とても役に立つと思います。

崔 載浩(チェ ゼホ)さん
(韓国・清州大学 交換留学生)

한 달 동안의 iconact 프로그램을 하면서 느낀 점은 첫 번째로, 한국을 좋아하고 한국에 대해 관심을 가지고 있는 외국인 학생이 많다는 것이었습니다. 한국을 좋아하는 일본인 학생이 많은 것은 일본에 오기 전부터 알고 있었기 때문에 한국을 좋아하는 일본인 학생이 많은 것은 놀랍지 않았지만, 독일이나 러시아, 멕시코 등 많은 학생이 한국에 대해 관심을 가져 준다는 점에 대해 한국인으로써 뿌듯함을 느꼈습니다. 다만, iconact 프로그램에 흥미를 가지는 학생이 적은 것에 대해서는 안타까움을 느꼈습니다. 현립대학교에서 많은 학생들이 한국어 교양수업에 참가하고 있고, 한국어 동아리가 있을 정도로 한국에 대한 인기를 실감하게 되었지만 그 인기에 비해 iconact는 인기가 적다고 생각했습니다. 그래서 앞으로는 제가 먼저 현립대학교의 친구들에게 손을 내밀어 iconact의 존재를 더욱 알리기 위해, 한국의 멋을 알리기 위해 노력하겠습니다.



En France, j'ai suivi des cours de FLE, afin d'enseigner le français aux étrangers, et ce de la meilleure façon possible. Après quelques jours à Aichi, on m'a proposé de participer à iContact. Ce programme proposait aux étudiants en échange d'enseigner leur langue maternelle, tout en recevant un salaire, comme un petit Baito.

J'ai accepté, parce que ça me permet aussi de faire connaissance avec d'autres étudiants, et d'échanger avec eux, tout en leur partageant quelques bouts de culture française, que ce soit de la musique, des vidéos ou des expressions courantes.

C'est vraiment une expérience fantastique que je recommande à tous ceux qui s'en sentent capable, car on prend en maturité et on rend la culture française un peu plus accessible (malgré les règles de grammaire et la prononciation compliquée !).



一ヶ月の間、アイコンタクトのプログラムをして感じたことは、韓国のことが好きで、韓国について興味を持っている外国人の学生が多いということでした。韓国のことが好きな日本人の学生が多いということは日本に来る前から知っていましたから、韓国のことが好きな日本人の学生を見ても驚くことはありませんでしたが、ドイツやロシア、メキシコなどのいろんな学生が韓国について興味を持ってくれるところについて僕は嬉しさで満ちあふれました。しかし、アイコンタクトのプログラムに興味を持ってくれる学生が少ないことについては残念だと思いました。愛知県立大学では多くの学生たちが韓国語の授業に参加していて、韓国語のサークルがあるくらい、韓国の人気を実感するようになりましたが、その人気に比べてアイコンタクトの人気は少ないと思いました。それで、これからは自分から先に県大の学生たちに手を出して、アイコンタクトの存在をもっと知らせるために、韓国の魅力を伝えるために頑張ろうと思います。

ルクレル エステルさん
(フランス・リール大学 交換留学生)

フランスの大学で、FLEの授業を受けました。この授業は、外国人にフランス語を教える方法の授業でした。ですから、iContactというプログラムを聞いた時、最初から参加しました。少しバイトに似ているが自分で全部を決めます。

フランス語はとても難しいですが、意欲があれば、学ぶことができます。ですから、iContactで、文法だけではなくて、音楽や有名な人や言葉の意味などを紹介します。それから、教えながら他の国の文化を学びます。

iContactはとても面白いと思います。プログラムのおかげで、優しく友達になった人に会えて、自分の国の文化を教えて、いろいろ考えるようになります。

グローバルセミナー

グローバルセミナーは、国内外のグローバルな文脈における研究や、実践活動について紹介するセミナーです。2019年度は、14回のセミナーを開催し、本学教員だけでなく、愛知県立芸術大学教員もスピーカーとして招き、大学間の交流も進めています。学生のみならず教職員の参加者も多く、学部を超えた学びの場としての役割を果たしています。

2019年度開催グローバルセミナー



4月17日「アフリカで3回死にかけた：
グローバル化時代の海外安全講座」
亀井伸孝（外国語学部国際関係学科）

5月15日「データで見る東アジアの現在」
鈴木隆（外国語学部中国学科）

5月29日「平壤での『春休み』2019」
山本かほり（教育福祉学部社会福祉学科）

6月12日「ウズベキスタンと日本中世－出張報告を兼ねて－」
上川通夫（日本文化学部歴史文化学科）

6月26日「Global Pop Culture in Aichi
発見！愛知のポップ・カルチャー」
ブレット・ハック（iCoToBa 多言語学習センター）

7月10日「海からの情報化：パラオ共和国と光海底ケーブル」
奥田隆史（情報科学部情報科学科）

7月24日「Political Speech in the U.S－Examining Current Trends」
クリス・ワイル（教養教育センター）



10月 9日「大統領は by the way が好き
－第二回米朝首脳会談後のトランプ大統領記者会見から－」
袖川裕美（外国語学部英米学科）

10月30日「紙片から世界へ－画像処理でひろがる文理横断研究－」
神谷直希（情報科学部情報科学科）

11月13日「江戸時代の双六－『賑式亭まさる双六』－」
三宅宏幸（日本文化学部国語国文学科）

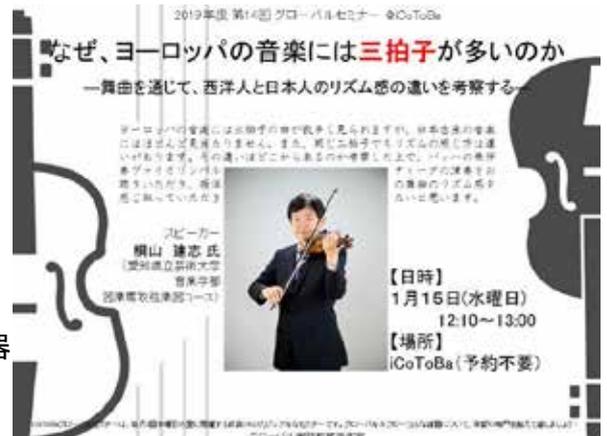
12月 4日「中国少数民族の伝統文化と生活風習
－刺繍と銀飾りで有名なミャオ族を取り上げて－」
楊 明（外国語学部中国学科）

12月18日「西洋絵画の秘密
－巨匠たちはこの世界をどのように描いたのか？－」
白河宗利（愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻）



12月25日「Christmas Around the World
－世界の年末年始の過ごし方を知ろう！－」
モルガン・ダレン

1月15日「なぜ、ヨーロッパの音楽には三拍子が多いのか
－舞曲を通じて、西洋人と日本人のリズム感の違いを考察する－」
桐山建志
（愛知県立芸術大学音楽学部音楽科器楽専攻弦楽器コース）



グローバルセミナーの様子



4月17日



5月15日



5月29日



6月12日



6月26日



7月10日



7月24日



10月9日



10月30日



11月13日



12月4日



12月18日



12月25日



1月15日

留学報告会

iCoToBaでの留学報告会は、毎週月曜日の昼休みに開催しています。留学体験者が留学先での学修や異文化体験などの紹介を通して、自身の学びをふりかえることと、これから留学する学生と、留学準備や現地情報等を共有することを目的としています。2019年度は、前・後期あわせて25回開催し、336人の学生が参加しました。

留学報告会での事例は、海外学術協定大学への留学だけでなく、「トビタテ！留学JAPAN」や、幅広い専門分野の留学経験を扱い、全学の学生にとって意味のある情報提供を目指しています。

2019年度前期

中国 四川師範大学
台湾 国立中興大学
中国 南京師範大学(2回)
オーストラリア ウーロンゴン大学(2回)
スペイン CEUサンパブロ大学
ペルー・カトリカ大学
インドネシア
「日本語パートナーズ」プログラム
ドイツ リューネブルク大学
ドイツ チュービンゲン大学
メキシコ グアダラハラ大学
スペイン アリカンテ大学
韓国 清州大学
ブラジル サンパウロ大学



2019年度後期

カナダ メモリアル大学
イギリス ニューカッスル大学
カナダ モントリオール大学
イギリス セントラル・ランカシャー大学
メキシコ グアダラハラ大学
メキシコ メキシコ国立自治大学
韓国 清州大学
中国 華東師範大学
セントビンセント・グレナディン諸島
NGOプログラム
韓国 韓国外国語大学



iCoToBaのイベント

iCoToBaでは、異文化理解および異文化交流の促進を目的に、さまざまなイベントを開催しています。2019年度には20回のイベントを実施しました。

2019年度開催イベント

- 4月 3日 ポルトガル語履修ガイダンス
- 4月12日 ミニイベント「世界文化の豆知識大会」
- 4月12日 International Cooking Event
- 4月24日 「おもてなしブックレット」活動報告会
- 4月24日 Welcome Party
- 6月19日 フェスタ・ジュニーナ
- 6月25日 留学生成果発表会「10年後の私」
- 7月 3日 異文化交流イベントーメキシコー
- 7月10日 Farewell Party
- 7月16日 留学生成果発表会「中国の語呂合わせ」、
「プチ留学」、「死者の日」
- 7月19日 異文化交流イベントーロシアー
- 7月23日 留学生成果発表会「日本の不思議」



▲ International Cooking Event



▲ フェスタ・ジュニーナ

▼書き初め大会



Christmas Event▶



▼ Fiesta Mexicana▶



- 10月16日 Welcome Party
- 10月30日 Halloween Party
- 11月 6日 ロシア日本語教育実習報告会
- 11月19日 留学生成果発表会
「やさしい日本語で話そう」
- 12月18日 世界のクリスマス
- 1月14日 留学生成果発表会
「日本で安心・安全に暮らす」
- 1月15日 Farewell Party
- 1月22日 書き初め大会



地域との連携

iCoToBaでは、地域産業界や自治体等と連携し、地域社会における課題解決を目指した学習機会や地域でのボランティア活動の機会を提供しています。2019年度は、iCoToBaの2つのPBL(プロジェクト型教育)授業で課題に取り組みました。

世界コスプレサミット(World Cosplay Summit: WCS)英文記事作成プロジェクト



毎夏、名古屋市で開催されている世界最大のコスプレイベント、世界コスプレサミット(World Cosplay Summit: WCS)にやって来る参加者のために、愛知・名古屋のポップカルチャーを紹介する英文記事を作成しました。WCSおもてなし学生実行委員会との協働で2019年のイベントで使用されました。

▼ 成果発表会の様子▼



◀ 作成した英文記事 ▼



グローバル実践共働プロジェクト

Refugees in Japan: How we Can Help 「難民と人権」私たちにできること

難民問題は、世界中を巻き込む深刻な問題です。日本においても難民問題を考え、彼らを手助けしようとする組織はたくさんあります。そのような組織の一つ、Door to Asylum Nagoya (DAN)と協同し、日本の若者にもっと難民問題に関心を持ってもらうための英語と日本語のビデオを製作しました。この難民問題を考えるプロジェクトは2020年度も引き続き取り組む予定です。

2019後期iCoToBaのグローバル実践共働プロジェクト

Refugees in Japan: How we Can Help 「難民と人権」私たちにできること

国際的な難民の状況は、言葉の壁を越え込む重要な課題です。この深刻な問題について、ここにいらっしゃる方には何かできるでしょうか。iCoToBaにおいても難民問題に思い、彼らを手助けしようとする組織はたくさんあります。このiCoToBaプロジェクト-国際実践共働コースでは、その一つが難民問題のコースです。このコースでは、日本の若者にもっと難民問題に関心を持ってもらうためのプロジェクトを実施します。「難民と人権」とは具体的に何をすればよいのでしょうか。難民問題を考えるための英語と日本語の資料を作成します。このプロジェクトは、より関心のある方と一緒に取り組んでいきます!

*全学年・学年の学生大歓迎 *フレキシブルな参加方法 *外国語力不要

第1回説明会: 10月7日(月)ランチタイム

第2回説明会: 10月9日(水) 16:10~16:30

場所はiCoToBa A5(アクティビティスペース)で開催します。

名古屋難民支援室
Door to Asylum Nagoya

問い合わせ: iustoba@for.asn-gu.ac.jp またはiCoToBa受付まで

グローバルなイベントにおけるボランティア活動

ラグビーワールドカップでのボランティア活動

2019年9月から日本で開催されたラグビーワールドカップで、会場の一つとなった豊田スタジアムでの試合開催日の4日間、愛知県内の主要乗換駅で語学を生かした案内誘導ボランティアとして、本学の学生27名が参加しました。



今回のボランティアを通して、人々の温かさに触れることができました。また、南アフリカやナミビアなどのあまり馴染みのない国の方と交流することができ、良い経験になりました。最初は、英語で案内するということが不安で、なかなか話しかけることができませんでした。しかし、いざ話しかけてみると、どの方も親切で、落ち着いて案内することができました。それだけでなく、私の拙い英語を理解していただいたことや、多くの方に喜んで貰えたことが、すごく嬉しかったです。自分の語学力不足を感じましたが、この経験を励みに勉強を続けていきたいです。(伊藤晴香・外国語学部中国学科1年)

2018年度に愛知県・豊田市と協働で作製した「OMOTENASHI Booklet」を豊田市に設けられたファンゾーンで、来日した外国人観光客に実際に配布しました。



あいち技能五輪・アビリンピックボランティア活動

大会について詳しく知らず思い付きで申し込んでしまい不安もあったけれど、当日までの期間に新聞などで大会について見聞きすることで、自分がいかに名誉な仕事に携われるのか理解できモチベーション向上に繋がりました。また、事前研修ではボランティアにおける気持ちの持ち方や働き方を学ぶことができ、更にやる気が出ました。



当日の仕事は、マニュアル通りにいかないこともあり、早朝から夕方までの活動で精神的にも肉体的にも決して楽なものではありませんでした。しかし、普段関わることのできないような中学生や障害のある学生さんたちのガイドという仕事は、また経験したいと思えるほどやりがいがあり、何より楽しかったです。お金を貰っていないからこそ生まれる達成感と充実感、自ら挑戦することを選んだからこそ得ることができたのだと思います。とても貴重な経験ができました。

(山田果歩・外国語学部中国学科4年)

自分たちが作ったものが、実際に手に取ってもらえるようなところを見てみたいと思って参加を決めました。これまで別の機会でも、パンフレットの配布のボランティアには参加をしたことがあったのですが、外国人の方に英語を使ってという経験はなかったもので、少し不安に思うところもありました。やはり緊張して初日は全然できなかったのですが、一緒に活動をした先輩や県の職員の方々には溶け込んでいてすごいと思いましたし、刺激を受けたような感じでした。2日目の時に、外国人の兄妹が手裏剣体験をしに来ました。頑張って投げ方の説明をすることができたかなと思います。最後に「ありがとうございます」と言ってもらえたのはうれしかったです。先輩も言われていたのですが、笑顔でちゃんと受け止めてくれる感じが温かかったです。また、外国人の方だけでなく日本人の方とも交流ができて、作ったパンフレットを渡せてよかったなと思います。

3日目は台風の影響でなくなってしまったのはちょっと残念でした。しかし、2日間でなかなかできないようなとてもいい経験になりました。自分がどういふことをしたいのかも考える機会にもなったかなと思います。これから、ボランティアはもちろんですが、外国の方と関わるようなことも挑戦できたらと思えました。ありがとうございました。

(出口遥香・日本文化学部歴史文化学科2年)

学生活動のサポート

iCoToBaは自由な学びの空間です。外国語学習サークルや留学生との会話活動など、自主的な学習活動を応援しています。2019年度は学生が企画・運営する2つの新しい活動が始まりました。あなたもチャレンジしたいことがあれば、ぜひ気軽にスタッフに相談してください。



中国語勉強会 中文角(中国語コーナー)

iCoToBaには中国からの留学生もたくさんおり、iContactの時間もあるが、中国学科の学生があまり利用していないのが現状である。そこで、だれでも気軽に参加できる勉強会を作って、相互学習の手助けにしたいと考えました。また、私は中国語の教職課程を履修しているのですが、中国語の教職の授業で学んだことを実践する場を設けて学んだことを生かしたいと考えてました。この取り組みがうまく行った際には、中国語免許を履修する学生が練習の場も兼ねて引き継いでいけるとよいと思っています。(内田さくら・外国語学部中国学科4年)

韓国同好会 동아리방 tong a li pang



iCoToBa Supporters Club (ISC) は、iCoToBaイベントの企画・運営を行う学生団体です。2019年度は、交換留学生のWelcome partyやFarewell partyを企画・実施しました。

iCoToBa Supporters' Club



◀ ◀ Welcome Party

iCoToBaの情報発信

iCoToBaでは、WebサイトやSNSを活用した情報発信をしています。



iCoToBa公式Webサイト

主に、語学講座やイベントの告知をしています。2019年度は72件のニュースをアップしました。(2019年4月1日～2020年2月1日)

iCoToBa Webサイト

<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/index.html>

また、iCoToBaの講座やプロジェクトで作成した成果物や報告書は、アーカイブスのページからダウンロードできます。

iCoToBaの刊行物

<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/publication/>

Facebook愛知県立大学icotoba(あいことば)

Facebookでは、イベントの告知だけでなく、イベント参加者の声やiContactの内容などを発信しています。2019年4月1日から2020年2月1日までに、103件のニュースをアップしました。

Facebook愛知県立大学icotoba(あいことば)

<https://www.facebook.com/APUiCoToBa/>



Instagram

icotoba多言語学習センター
アカウント名: icotoba

Please follow iCoToBa on Instagram!



2019年6月からInstagramを始めました。2020年2月までの投稿数は81件、フォロワー数は177人です。iCoToBaで実施しているイベント等の写真をリアルタイムで投稿しています。



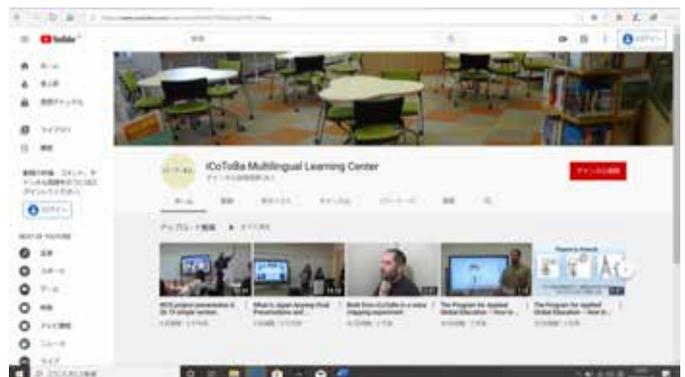
YouTube

iCoToBaの専任教員 ブレット・ハック先生が、iCoToBaの語学講座の受講生の声やグローバル実践教育プログラムの紹介をYouTubeチャンネルiCoToBa Multilingual Learning Centerから発信しています。

YouTubeチャンネル

iCoToBa Multilingual Learning Center

https://www.youtube.com/channel/UCfMh21TWtDx1opH7tD_SMkx



● 目次

- ① iCoToBa によろこそ
- ① グローバル実践教育プログラム
- ② グローバル実践教育と iCoToBa
- ③ iCoToBa の語学講座
 - 英語コミュニケーション講座
- ⑤ ● 留学前準備講座
- ⑥ ● 語学検定対策講座
- ⑦ ● 地域コミュニティ言語講座
- ⑧ ● 受講者の声
- ⑨ iContact (あいこんたくと)
- ⑪ グローバルセミナー
- ⑬ 留学報告会
- ⑭ iCoToBa のイベント
- ⑮ 地域との連携
- ⑱ iCoToBa の情報発信

iCoToBa 2019 (iCoToBa年報第7号)

2020(令和2)年3月発行

発行：愛知県立大学グローバル実践教育推進室

〒480-1198

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3 外国語学部棟2階

Tel: 0561-76-8833 Fax: 0561-64-1107

e-mail : icotoba@for.aichi-pu.ac.jp

<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba>